

平成28年度 九大×NEXCO西日本 技術シンポジウム（素案）

《案1》 熊本地震と高速道路（仮）

〔概要〕

今年の4月に発生した熊本地震は、前震、本震の2段階で発生した震度7クラスの大地震に加えて、1週間以上、震度4以上の余震が多数発生し、大きな被害をもたらしました。高速道路も九州自動車道や大分自動車道の一部区間で通行止めを伴う損傷を受け、社会的にも大きな影響を与えました。

一方、同じ4月に、東九州道の椎田南ICから豊前ICが開通し、北九州市から宮崎市まで一本の高速道路で結ばれました。このように九州の高速道路ネットワークも充実し、その整備効果も徐々に増えてきています。

現代社会に欠かすことの出来ない存在となった高速道路について、今回の熊本地震の経験も踏まえて、改めて利用者の視点から高速道路に期待する役割等を発表させていただきます。

〔時間割〕

13:30～13:35（5分）	開会挨拶
13:35～15:05（90分）	基調講演 『高速道路ネットワークと大震災』
15:05～15:25（20分）	休憩
15:25～15:55（30分）	講演① 『整備効果（東九州道他）事例紹介』
15:55～16:25（30分）	講演② 『熊本地震の被災状況と応急復旧』
16:25～16:55（30分）	講演③ 『復興に向けて（今後の課題）』
16:55～17:00（5分）	閉会挨拶

《案2》 北九州市～宮崎市が高速道路で直結（仮）

〔概要〕

今年の4月に、東九州道の椎田南ICから豊前ICが開通し、北九州市から宮崎市まで一本の高速道路で結ばれました。日本で最初の高速道路が開通してから50年が経過し、ネットワークも概成、現在1日あたり〇〇〇万台の車両が高速道路を利用しています。その一方で、今年4月には、熊本地震による損傷で九州道や大分道の一部区間が通行止めとなり、社会的にも大きな影響を与えたところです。

このように、高速道路は現代社会に欠かすことの出来ない存在となりました。東九州道の開通を機会に、人・モノの交流から地域の安全を支えるための基礎的インフラとして、高速道路に期待される役割を考えます。

〔時間割〕

13:30～13:35（5分）	開会挨拶
13:35～14:35（60分）	第一部 基調講演 『高速道路の整備効果（東九州道他）』
14:35～14:55（20分）	休憩
14:55～16:55（120分）	第二部 パネルディスカッション（コーディネーター1名、パネリスト3～4名） 『大震災発生時、高速道路に期待すること』
16:55～17:00（5分）	閉会挨拶

		タイトル	講演	パネルディスカッション
1	2009/ 12/15	第1回フォーラム 100年をつなぐイノベーション ～安全安心な九州のハイウェイをめざして～	「九州大学とNEXCO 西日本の連携協定について」日野 「九州の高速道路の歴史とその技術的課題」久保 「NEXCOにおける新技術開発の現状と課題」角 「ねじりを受けるRC部材の耐震照査法と補強方法」大塚 「鋼道路橋の腐食損傷の現状と防食における課題」貝沼 「GISの高度利活用をめざす高速道路情報システムの提案」江崎	
2	2010/ 7/10	技術シンポジウム 未来につなぐ九州の道 ～安心・安全な道路、今できることは？～	「高齢化していく道路インフラとの付き合い方」藤野 「湯布院の活性化のために」桑野	「未来につなぐ九州の道 ～安心・安全な道路、今できることは？～」コ)日野、パ)桑野、藤野、玉川、濱砂、岡本、久保
3	2011/ 6/13	技術シンポジウム 社会インフラの防災と危機管理を考える ～東日本大震災から学ぶ九州の高速道路の安全性～	「西日本における地震防災の在り方」土岐 「東日本大震災における高速道路の被災状況と対応」川添 「NEXCO 西日本の防災に対する新たな取り組み」角田 「東日本大震災の教訓」大塚 「地理情報システム(GIS)を活用したのり面防災」三谷	
4	2012/ 10/17	技術シンポジウム 社会インフラの防災と危機管理を考える Part2 ～災害に強い九州の道を、今できること～	「巨大災害にどう向きあうか？ ～インフラのあり方と災害に対する国民的インフォームド・コンセント～」家田 「平成24年7月梅雨前線豪雨による災害」塚原	「災害に強い九州の道を、今できること」コ)大塚 パ)塚原、猪狩、大坪、時枝、藤本
5	2013/ 10/31	「関門橋、40年の歴史とこれから」	「インフラストックとしての高速道路ネットワーク –関門橋が果たしてきた役割–」大石	「関門橋、40年の歴史とこれからを考える」コ)玉川、アドバイザー)大石 パ)風間、片山、喜安、城水、日野、廣畑
6	2014/ 10/27	技術シンポジウム 社会インフラを守る	「九州大学とNEXCO 西日本 産学連携の歩み」日野 「高速道路技術伝承と壬子会技術者の足跡」前田 「JR西日本における鉄道土木構造物の維持管理」村田 「種子島宇宙センターとその設備保全について」小林 「維持管理の現況と事例紹介」渡邊 「コンクリート橋の凍結防止剤による塩害の現状と補修方法について」佐川 「産学学際研究による新技術開発の紹介」貝沼	
7	2015/ 10/27	技術シンポジウム 九州の発展と交通インフラ	「九州の交通における現状と課題」大枝 「設備投資計画に見る、九州経済の発展性」青木	「九州のさらなる発展を目指した交通インフラの有効活用」コ)三谷、パ)土井、青木、高橋、渡邊、福永、大枝